

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	造園植栽	単位数	2	履修学年・クラス	3B緑化
担当者		使用教材	造園植栽				
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、造園植栽に必要な資質・能力を育成することを目指す。						
	○造園植栽について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。						
	○造園植栽に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。						
学習方法	○造園植栽について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
	○実習・座学を通して造園の植栽施工と管理、造園樹木の管理について知識・技術を身に付けます。						
	○高校在学中に、造園技能士や造園施工管理技術士の資格取得に挑戦するので、学科試験対策に繋がる学習を行います。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	造園植栽について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。植栽材料の名前、特徴を知り、特性を見極めた施工法や管理法が選択できる。				
	思	思考・判断・表現	造園植栽に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。レポートを活用することで、課題を発見、思考する。樹木や草花の活用方法を判断できる。				
	態	主体的に取り組む態度	造園植栽について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を養う。資格取得につながる学習であることを意識し、主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
	定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。						

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第2章 造園植栽計画	第1節 植栽と地域・風景の関連性 第2節 植物の特性と植栽計画 第3節 植栽のデザインに向けて	○	○	○	(知) 造園対象空間(土地利用)の空間整備の条件を踏まえながら植栽計画を立てなければならないことを理解している。 造園植物・樹木の植栽が造園空間の活用に与える効果を理解している。 (思) 生活空間の向上、立地環境に適した基本的な植栽計画が判断ができる。 (態) 教科の学習が資格取得(実技試験、学科試験)に繋げて行こうとする動機を下に積極的な学習に取り組んでいる。	授業の取組 実習態度 学習プリント 考査
	3級造園技能士対策	技能検定に向けた実技・学科試験の専門的な知識と技術の習得	○	○	○		
前期末	第2章 造園植栽計画	第4節 植栽の機能・効果と植栽構成 第5節 植栽の具体的デザイン 第6節 植栽基盤 第7節 草花の活用	○	○	○	(知) 植栽がもたらす、景観の調整・演出など機能と効果について理解している。 花壇の種類に応じた草花の選択、活用方法について理解している。 (思) 卒業庭園のテーマに合うような植栽計画を立てられる。 (態) 教科の学習が資格取得(実技試験、学科試験)に繋げて行こうとする動機を下に積極的な学習に取り組んでいる。卒業庭園を一人ひとりが主役となり、良いものを完成させようという意識を持ち、取り組んでいる。	授業の取組 実習態度 学習プリント 考査
	3級造園技能士対策	技能検定に向けた実技・学科試験の専門的な知識と技術の習得	○	○	○		
	卒業庭園作成	卒業庭園の作成に向け、設計から施工までを学び、造園の総合的な知識と技術を修得する。	○	○	○		
後期中間	卒業庭園作成	卒業庭園の作成に向け、設計から施工までを学び、造園の総合的な知識と技術を修得する。	○	○	○	(知) 今まで学習してきた内容を総合的に発揮しながら卒業庭園製作、個人作品に取り組んでいる。 資格取得に向け、教科の学習内容を関連付けて理解している。 (思) 卒業庭園のテーマに合うような植栽計画を立てられる。植栽等、作庭の基本ルールに従いながら独自性のある作品作りができています。 (態) 卒業庭園を一人ひとりが主役となり、良いものを完成させようという意識を持ち、取り組んでいる。教科の学習が資格取得(学科試験)に繋げて行こうとする動機を下に積極的な学習に取り組んでいる。	授業の取組 実習態度 学習プリント 作品 考査
	第6章 造園植栽の実践活動	第1節 身近な造園空間の植栽管理 第2節 地域におけるプロジェクト	○	○	○		
	花農祭個人作品 造園施工管理技術士対策	正月用寄せ植えの製作を通して、植栽の配置や空間の活かし方を体系的に学ぶ。資格取得に向けた学習を通して、造園植栽の専門的な知識について体系的に学ぶ。	○	○	○		
後期末	造園施工管理技術士対策	資格取得に向けた学習を通して、造園植栽の専門的な知識について体系的に学ぶ。	○	○	○	(知) 資格取得に向け、教科の学習内容を関連付けて理解している。学習して得た知識、技術を活かし、門松製作や図面製図ができています。 (思) 卒業庭園製作の庭園をわかりやすい図面にまとめることができる。 (態) 門松の製作・寄贈の活動を通して、感謝や他者の幸福を願う気持ちを持って、卒業庭園の取り組みを図面として報告書のかたちでまとめられる。	授業の取組 実習態度 学習プリント 作品 考査
	門松製作・寄贈	竹の取り扱い、縄の結束方法、門松の歴史や意味を製作体験を通じて学ぶ。	○	○	○		
	造園デザインコンクールへの応募	卒業庭園の取り組みを図面としてまとめ、全国デザインコンクールの応募作品として、教科の学習について振り返る。	○	○	○		